株式情報（平成27年9月30日現在）

株式の状況

1.発行可能株式総数	27,400,000株
2.発行済株式の総数	15,628,300株（うち自己株式674,218株）
3.株主数	3,541名

株主メモ

■事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
■基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　3月31日 中間配当を行う場合　9月30日 そのほか必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
■定時株主総会	毎年6月下旬
■単元株式数	100株
■株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

■お問い合わせ先

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324（フリーダイヤル） （土・日・祝日を除く9：00～17：00）
お取扱店		みずほ証券 本店および全国各支店および営業所 プラネットプース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取扱いできませんので、ご了承ください。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。

■公告方法　電子公告（http://www.se-corp.com/ir/koukoku.html）
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

○ご報告：株主優待制度を活用した社会貢献団体への寄付について

平成27年3月期においては、選択式の優待品目のひとつとして、昨年同様「緑の募金」を通じた東日本大震災の被災地復興に向けた『使途限定募金』の寄付を設定いたしました。

その結果、多くの株主様の善意により**合計金額61万3千円**が集まりましたので、公益社団法人国土緑化推進機構に全額寄付させていただきます。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

ホームページのご案内

詳細なIR情報や会社概要等については、当社ホームページをご覧ください。
http://www.se-corp.com

会社情報（平成27年9月30日現在）

商号	株式会社エスイー
所在地	〒163-1343 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号（新宿アイランドタワー）
創業	昭和42年8月
設立	昭和56年12月
資本金	12億2,805万円
従業員数	単体188名、連結411名
グループ事業内容	1.建設用資機材の製造・販売 ・環境防災分野 ・橋梁構造分野 ・ESCON®の製造販売事業 ・PPP/コンセッション分野 2.建築用資材の製造・販売 3.建設コンサルタント 4.補修・補強工事 5.その他（超高引張強度コンクリートの開発等）
関係会社	㈱アンジェロセック（連結） エスイーA&K㈱（連結） エスイーリペア㈱（連結） ㈱ランドプラン（連結） エスイー鉄建㈱（連結） ㈱コリアエスイー（持分法適用、韓国） ㈲日越建設コンサルタント（VJEC）（非連結、ベトナム） 九春工業股份有限公司（台湾）
協力会社	アンジェロップ（フランス）

役員

■取締役・監査役

代表取締役会長 執行役員会長	森　元峯　夫
代表取締役社長 執行役員社長	大津　哲　夫
取締役 執行役員副社長	石崎　浩
取締役 執行役員副社長	岡本　哲也
取締役 専務執行役員	塚田　正春
取締役 常務執行役員	本間　誠治
取締役 常務執行役員	戸澤　憲行
取締役 執行役員	杉山　浩之
取締役 執行役員	久賀　泰郎
取締役（社外取締役）	岡　俊明
取締役（社外取締役）	梶山　芳孝
監査役（常勤）	鈴木　章二
監査役	寺石　雅英
監査役	菅澤　喜男

■執行役員（取締役を兼任するものを除く）

執行役員	中村　賢一
執行役員	和田　弘
執行役員	水城　康男
執行役員	市川　真佐史
執行役員	石野　隆之
執行役員	永野　誠史

SEC 株式会社 エスイー
http://www.se-corp.com

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主通信

第35期第2四半期

平成27年4月1日～平成27年9月30日

●目　次

－エスイーグループ事業紹介
－株主の皆様へ
－平成28年3月期第2四半期連結決算ハイライト
－事業の状況
－第2四半期連結財務諸表
－特集　【海外展開】プロジェクト紹介
－株式情報
－会社情報

SEC　証券コード：3423

エスイーグループ事業紹介

安心・安全で快適な暮らしのために、様々なフィールドで貢献しています。

建設用資機材の製造・販売事業
(株)エスイー
エスイー鉄建(株)

建築用資材の製造・販売事業
エスイーA&K(株)
エスイー鉄建(株)

建設コンサルタント事業
(株)アンジェロセック

補修・補強工事業
エスイーリペア(株)
(株)ランドプラン

マンションの仮設・内装建材

港湾などの耐震補強

学校などの耐震補強

橋梁の構造強化

橋梁の設計

橋梁の補修・補強

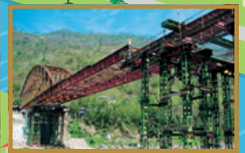
トンネルの補修・補強

高速道路など道路橋の構造強化

斜面の地すべり防止

オフィスビルの仮設・内装建材

海外の開発援助


公共事業・ODA等のコンサルティング

海外での事業展開

韓国

KOREA SE CORPORATION
(株式会社コリアエスイー)
●建設用資機材の製造・販売事業

ベトナム

VJEC (Vietnam Japan Engineering Consultants Co., Ltd.)
●建設コンサルタント事業

台湾

九春工業股份有限公司
●建設エンジニアリング事業

フランス　アンジェロップ社

アンジェロップ社は、社会インフラ、公共交通、水道施設、建築物など多岐にわたる技術力やネットワークを持ち、世界各国で活躍するフランスのエンジニアリング会社です。当社は、世界最高水準の技術を有するアンジェロップ社と創業以来の協力関係にあり、国内外において共同で事業を展開しています。

変化と新しい価値の創造

顧客に満足される新しい機能の創造
社会、自然環境との調和
社員の個性尊重　－意欲と能力の発揮による各人の豊かさの実現－
Making Changes,　Creation of New Values　for the Next Stage

株主の皆様へ

代表取締役会長　森元 峯夫
代表取締役社長　大津 哲夫

平素は格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策を背景として、雇用・所得環境の好転、企業収益の改善など景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外では中国経済等の景気減速、また国内でも物価上昇による個人消費の伸び悩み等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界における中長期視野での公共投資減少等の問題に対処すべく、安定収益の確保と経営基盤の強化として、「補修・補強市場」への積極的な事業展開、海外（ベトナム）建設市場の開拓、超高引張強度コンクリート「ESCON®」の開発等に取り組みました。

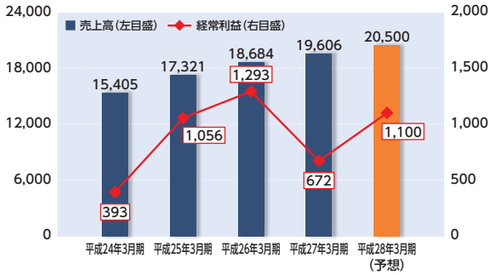
この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、建設用資機材の製造・販売事業において、第1四半期連結会計期間からの継続した公共事業費予算執行の遅れや平成26年度補正予算減少の影響もあり、売上高86億26百万円（前年同期比1.4％減）と減収となりました。利益面では、建設用資機材の製造・販売事業において工場製品の売上高減少による売上総利益の減少があり、営業損失1億44百万円（前年同期は1億19百万円の営業利益）、経常損失1億42百万円（前年同期は88百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億52百万円（前年同期は8百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）と減益となりました。

当社は、これからも人々の生命と財産を守るため、グループ一丸となって社会へ貢献してまいります。今後とも、変わらぬご愛顧を賜りますようお願いいたします。

平成28年3月期第2四半期連結決算ハイライト

売　上　高	86億26百万円
経　常　損　失	△1億42百万円
期末配当（予想）	1株当たり22円

・通期連結売上高、経常利益の推移（単位：百万円）



決算のポイント

M&A実施による、事業展開の拡充

第1四半期連結会計期間に新たに株式会社森田工産をグループ化し、当第2四半期連結会計期間には株式会社森田工産とエスイー鉄建株式会社の合併を行っております。

これにより、エスイー鉄建株式会社は、既存の建設用資機材の製造・販売事業に加え、新たに建築用資材の製造・販売事業へも参入しグループ内の相乗効果に貢献しております。

公共事業費予算執行遅れによる影響

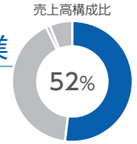
法面アンカーや橋梁の斜材等の大型案件が端境期を迎えるなか利益率の高い工場製品の売上・利益が減少。一方、民需拡大に伴う建築資材販売事業においては景気回復にささえられ良好に推移いたしました。

事業の状況

エスイーグループの事業は主に4つのセグメントにより構成されています。

建設用資機材の製造・販売事業

㈱エスイー
連結子会社：エスイー鉄建㈱



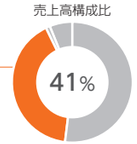
売 上 高　44億51百万円　（前年同期比 11.8％減）

公共投資関連事業費のうち、治山治水、道路整備、災害関係事業での予算執行が低調に推移したことで、工場製品を中心に厳しい市場環境となりました。また、当第2四半期連結累計期間には、前第2四半期連結累計期間と比較して法面のアンカーや橋梁の斜材等の大型案件が端境期であったことにより、売上高減少の要因ともなりました。

利益面では、比較的利益率の高い工場製品の売上高減少による売上総利益の減少があり、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

建築用資材の製造・販売事業

連結子会社：エスイーA＆K㈱
　　エスイー鉄建㈱



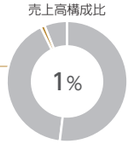
売 上 高　35億42百万円　（前年同期比 21.4％増）

エスイーA＆K㈱において、建築業界全体が緩やかな回復傾向にあることから、特に首都圏市場における大型再開発物件などの資材販売が順調に推移いたしました。一方、東北市場では、震災復興関連工事及び官民建築工事の発注が低調に推移するなど、依然として厳しい市場環境が続いております。利益面では、原材料価格の一層のコストダウンを通じ製造原価の低減と生産効率の向上を続けてまいりました。

また、子会社化したエスイー鉄建㈱の建築分野を中心とした建築金物、建築耐震補強材の資材納入、鉄骨・梁加工製作の鉄骨建て方工事などが当セグメントの売上、利益に寄与いたしました。

建設コンサルタント事業

連結子会社：㈱アンジェロセック

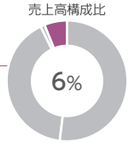


売 上 高　1億円　（前年同期比 50.1％減）

㈱アンジェロセックの国内および海外における事業展開により、受注物件の確保ならびに継続受注物件の業務活動を行いました。当第2四半期連結累計期間におきましては、「パキスタン国カラチ市内国道5号線改善計画準備調査」、「2014年度案件別事後評価パッケージⅢ-4」、「チュニジア国治安対策機材整備計画DD」等が完了しましたが、一部のJV受注物件について完工が遅れたため、売上計上が第3四半期以降の連結会計期間に移動しております。

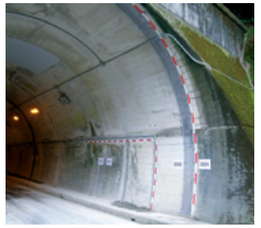
補修・補強工事業

連結子会社：エスイーリペア㈱
　　㈱ランドプラン



売 上 高　5億31百万円　（前年同期比 7.9％減）

政府による「国土強靭化」を掲げる政策やインフラ老朽化対策である橋梁、道路、トンネルなどの改修計画の具体化など事業を積極展開しております。一方、補修補強工事を有望な市場と見る新規参入業者の増加により競合は厳しさを増してきており、また、第1四半期連結会計期間における公共工事発注の出遅れが売上に影響する状況となりました。



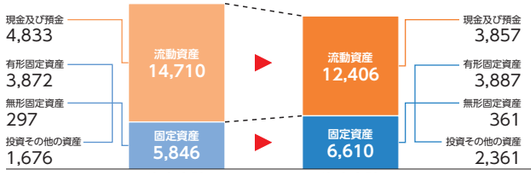
※売上高および売上高構成比は端数処理をしております。

第2四半期連結財務諸表

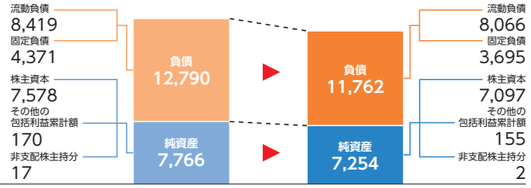
（注）財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表（要旨）（単位：百万円）

前期末（平成27年3月31日現在）　当第2四半期末（平成27年9月30日現在）

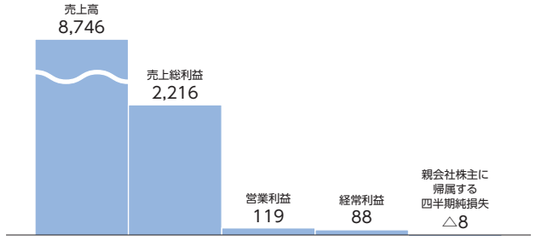


前期末（平成27年3月31日現在）　当第2四半期末（平成27年9月30日現在）

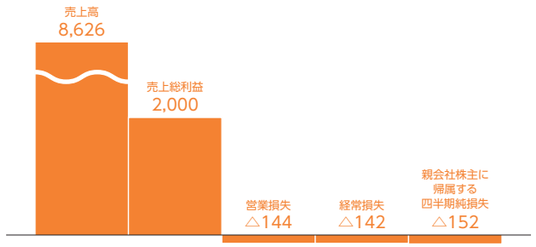


連結損益計算書（要旨）（単位：百万円）

前第2四半期累計（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

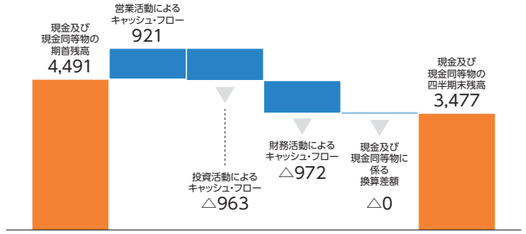


当第2四半期累計（平成27年4月1日～平成27年9月30日）



連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）（単位：百万円）

当第2四半期累計（平成27年4月1日～平成27年9月30日）



POINT①

資産減少の主な要因は、前連結会計年度末に集中した売掛債権の回収が進んだことにより、受取手形および売掛金が14億89百万円減少したことによるものです。

POINT②

資金減少の主な要因は、財務活動によるキャッシュ・フローにおいて、長期借入金の返済による支出6億72百万円、社債の償還による支出1億60百万円、配当金の支払額3億28百万円等によるものです。

より詳しい財務情報は、IR情報サイトをご覧ください。

エスイー IR　検索　http://www.se-corp.com/ir/

特集　【海外展開】プロジェクト紹介

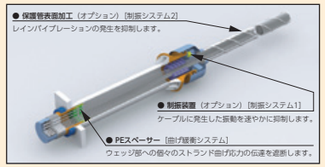
東アフリカ初の斜張橋建設工事に当社製品が採用

ナイル架橋建設工事（アフリカ・ウガンダ国）

<プロジェクト概要>

- 事業名
  ナイル架橋建設事業（ジンジャ）
  (Contstruction of a New Bridge Across River Nile at Jinja)
- 施工地域
  ウガンダ国ジンジャ県
- 工期（当社参加期間）
  2016年冬～2018年春
- 納品する当社製品
  FUT-H型斜材ケーブル（44H～91Hタイプ）
  72本（ケーブル長44m～155m）

【FUT-H型斜材ケーブル】



- 概要
  PC鋼より線に3重防食加工を施した斜材用ストランドを用いた現場組立型斜張橋用斜材ケーブルです。
- 特徴
  1. 大型重機を使用せずに斜材ケーブルの架設が可能です。
  2. ストランド1本ずつの架設であり張力導入は施工性の良いシングルジャッキによります。
  3. 保護管はカラー管やレインバイブレーション対策加工管が提供可能です。
  4. 自動緊張システムを含む緊張管理システム（AQSS）が提供可能です。
- 実績
  現場組立にメリットのある斜張橋、ED橋、弾性拘束ケーブルなどの用途に実績があります。

受注案件について

東アフリカで初のPC斜張橋となるナイル架橋は、内陸国ウガンダとケニアのモンバサ港を結ぶ重要な経済回廊上に位置しています。首都カンパラを結ぶ幹線道路（北部回廊）上にはナイル川が流れ、既設の狭幅員のナルバレ橋が老朽化していることから、安全で円滑な交通流の確保が図れない状況です。ナイル川を横断する新たな橋梁とアクセス道を建設することにより、ウガンダにおける北部回廊の輸送能力を増強し、国際輸送路として、安全性を確保することにより、周辺国との交易が活発になることが期待されています。

今回のナイル架橋建設工事は、以前に当社が関わった矢部川大橋（福岡県）、華明大橋（韓国）のPC斜張橋と同規模の案件であり、当社の今までの実績と経験が評価され、今回のプロジェクトに参加できる運びとなりました。

▲斜材ケーブル架設現場-2

▲斜材ケーブル架設現場-1

プロジェクトへの当社の関わり

当社は製品の提供、機材のリースとともに、納品する斜材ケーブルが現場組立型であり、それに伴う施工計画から架設指導、品質管理において、現地にスーパーバイザーを派遣し、当社の技術を提供してまいります。

ODA案件である本プロジェクトは、海外展開を推し進める当社にとって今後の東アフリカ圏での活動において重要な足掛りとなるものと考えています。